

建築学科

建築C A D 4

対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2	
担当教員	小池和仁			実務経験	有	職種	設計事務所にて建築設計に従事					

授業概要

CAD／CGソフトを使用し、3次元モデルや映像を作成します。

到達目標

操作技能習得として、次の4点を到達目標とする。①RCラーメン構造・3階建併用住宅（共通課題）の3Dモデリング、レンダリングができる。②RCラーメン構造・3階建併用住宅（共通課題）の各図面作成と、プレゼンテーションシート作成、データ変換、PDF化ができる。③設計課題（各自オリジナル）の3Dモデリング、レンダリングができる。④設計課題（各自オリジナル）の各図面の作成と、プレゼンテーション

授業方法

設計した建築物を3D・CADを利用しモデリングを行う。モデリングしたデータから、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図の作成し、内部家具・設備機器なども配置し、マテリアル、テクスチャー、光源なども加え、プレゼンテーションシートを作成する。

成績評価方法

授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する。

履修上の注意

IoT社会において重要な共有物としてのコンピューターの使用方法、データ管理など、精密機器の取り扱いについて学ぶことを意識する。授業には集中して取り組み、課題提出期限を守ること。出席は自己管理し出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上の出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。

教科書教材

Vectorworks2014ベーシックマスター秀和システム

回数	授業計画
第1回	オリエンテーション 3Dモデリング演習-1 3Dコマンド、柱状体コマンドにより立体をモデリングすることができる。
第2回	3Dモデリング演習-2 多段柱状体コマンド、回転体コマンドにより立体をモデリングすることができる。
第3回	RC造併用住宅の3Dモデリング演習-1 壁ツールコマンドを使い、柱・壁をモデリング及び修正することができる。

建築学科

建築CAD 4

第4回	RC造併用住宅の3Dモデリング演習-2 窓、ドアツールコマンドを使い、開口部を配置及び修正することができる。
第5回	RC造併用住宅の3Dモデリング演習-3 建築床ツールコマンドを使い、床のモデリング及び修正することができる。
第6回	RC造併用住宅の3Dモデリング演習-4 建築屋根ツールコマンドを使い、屋根のモデリング及び修正することができる。
第7回	RC造併用住宅の3Dモデリング演習-5 部)、立面図、断面図が作成できる。
第8回	設計課題のデジタルデータ化-1 設計製図4で取り組んでいる建築物のモデリング(壁、開口部)及び修正することができる。
第9回	設計課題のデジタルデータ化-2 設計製図4で取り組んでいる建築物のモデリング(床)及び修正することができる。
第10回	設計課題のデジタルデータ化-3 設計製図4で取り組んでいる建築物のモデリング(屋根)及び修正することができる。
第11回	設計課題のデジタルデータ化-4 モデリングした建築物から透視図(内部・外部)、立面図が作成ができる。
第12回	設計課題のデジタルデータ化-5 モデリングした建築物から配置平面図、断面図が作成ができる。
第13回	プレゼンテーションシートの作成-1 プrezentationシートのレイアウトが作成できる。
第14回	プレゼンテーションシートの作成-2 プrezentationシートのレイアウト検討と修正ができる。
第15回	プレゼンテーションシートの作成-3 CADのデータを変換、PDF化し印刷、保存ができる。